

Akita Prefecture



(秋田ふきのとう県民運動シンボルマーク)

令和5年度の主な取組について

令和5年度

秋田県健康福祉部 保健・疾病対策課

Akita pref.

心はればれゲートキーパー養成講座

○ 事業概要

身近な人が発する心の不調のサインに「気づき」、その人へ「声かけ」をし、必要な支援先に「つなぐ」ことができる人材を養成することで、自殺者の減少と全ての人に優しい地域づくりを目指す。

○ 事業実績

一般県民向け講座（3回）

【講師】保健所職員、地域内の精神科医等
【内容】日常生活の中での「気づき」や「つなぎ」を促す内容について講演
【参加者数】156人

出前講座（10回）

【講師】秋田大学自殺予防総合研究センター職員
【内容】日常生活や地域交流の中での「気づき」や「つなぎ」を促す内容。
【参加者数】262人

民生委員向け（8市町村）

【講師】秋田大学自殺予防総合研究センター職員
【内容】日常生活や地域交流の中での「気づき」や「つなぎ」を促す内容。
【参加者数】563人（集計未了）

勤労者向け講座（3回）

【講師】秋田大学自殺予防総合研究センター職員
【内容】日常生活や地域交流の中での「気づき」や「つなぎ」を促す内容。
【参加者数】156人

○ 来年度に向けて...

高齢者の自殺対策に焦点を当てた講座を実施予定。
老人クラブと連携した講座の実施や、高齢者との接点が多い分野の人材を対象としたゲートキーパー養成体制の構築を目指す。



あきたいのちのケアセンター

○ 事業概要

死にたい気持ちのある人や自死遺族のための電話相談窓口。相談者に対して医療機関や専門相談窓口についての情報提供を行うほか、緊急性のある自殺の相談に対しては介入を行う。

○ 相談実績（4～12月の累計）

<相談件数>

	R4	R5	増減
延べ相談件数	903	934	+31
内、新規相談	235	250	+15

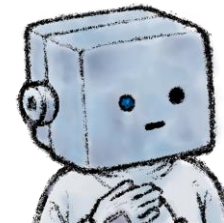
<新規相談者の年代内訳>

年代	R4	R5	増減
20歳未満	3	9	+6
20歳代	46	29	△17
30歳代	33	33	0
40歳代	25	44	+19
50歳代	27	35	+8
60歳代	23	26	+3
70歳以上	14	23	+9
不詳	64	51	△13

○ その他（著名人の自殺関連報道による影響）

令和5年7月12日に自殺により逝去された可能性があるとして報道された著名人について、報道後1か月間程度の間、20～30歳代及び60歳代において相談件数の増加が見られた。

なお、パンフレットや広報誌に比べて、テレビやインターネットのようなメディアからの流入が増加している（過去の同様の報道についても、概ね同様の傾向が見られる）。



テレビ・ラジオスポットCM事業

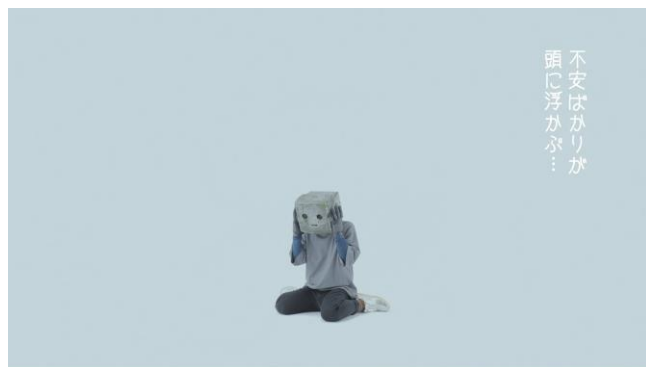
○ 事業概要

悩みを抱える人が誰かに助けを求めやすい環境を整備するとともに、周囲の人も異変に気付き、声をかけられる気運を醸成し、一人でも多くの県民が適切な相談先につながるよう、テレビ・ラジオCMによる普及啓発を行う。

○ 制作した映像（2パターン）

「言葉にして良いんだよ」篇

心の不調を感じた時、誰かに打ち明けるのは恥ずかしいことではないと訴える内容。



「心のSOSに気付いたら」篇

身の回りの人の「いつもと違う」に気が付いたら、声をかけて話を聞いて欲しいと訴える内容。



○ 事業実績（予定を含む）

- (1) 令和5年11月23日(木)~12月24日(日)
 - (2) 令和6年3月1日(金)~3月31日(日)
- ※上記以外にも、事業者特別枠での放映あり

また、CMと連動した取組として...

- デジタルサイネージ（県内7カ所）
- 秋田魁新報へCMと連動した広告掲載
- 報道各社のHPにおける情報発信
- 魁新報社主催SOS出し方講座等での発信